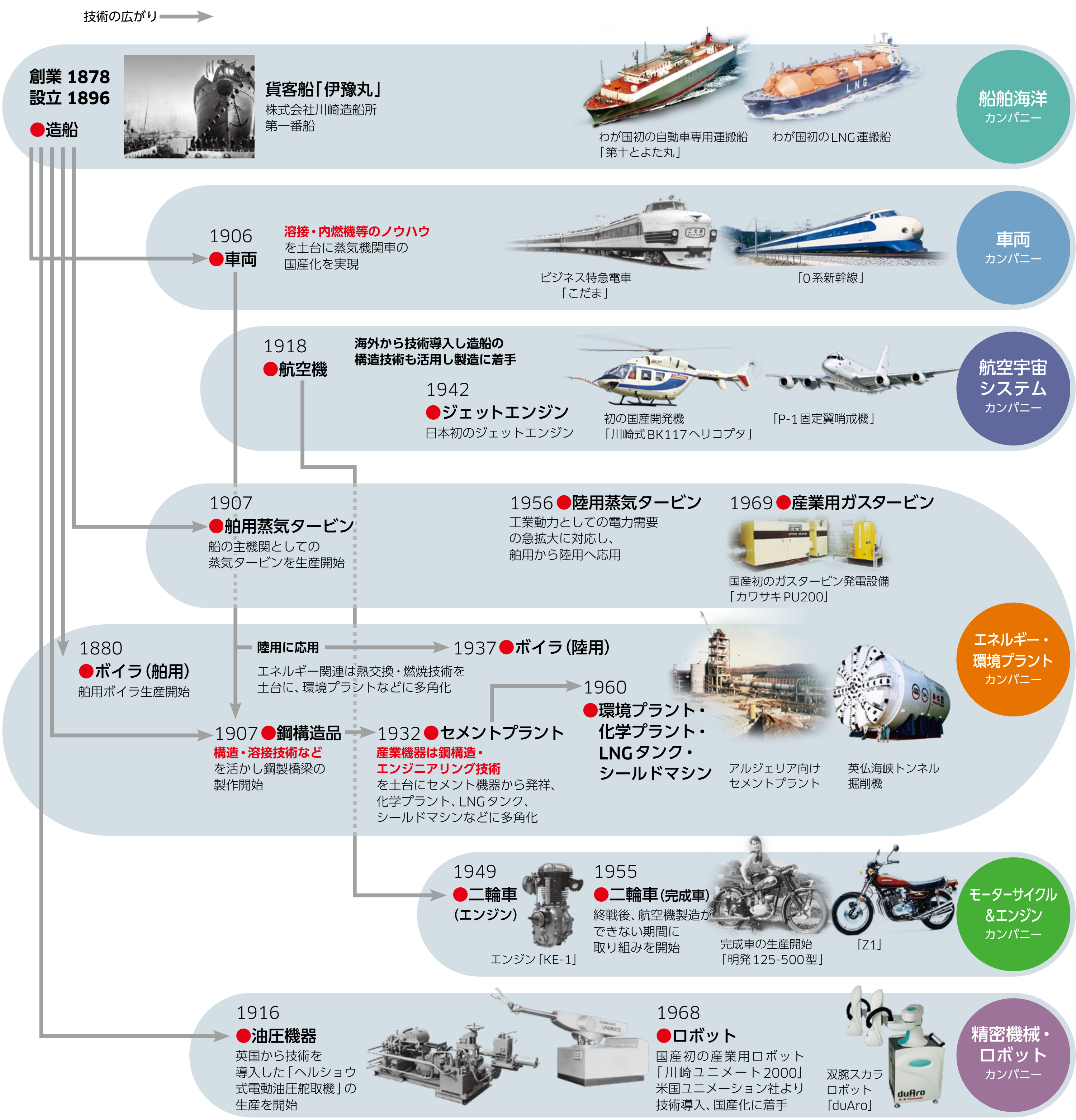
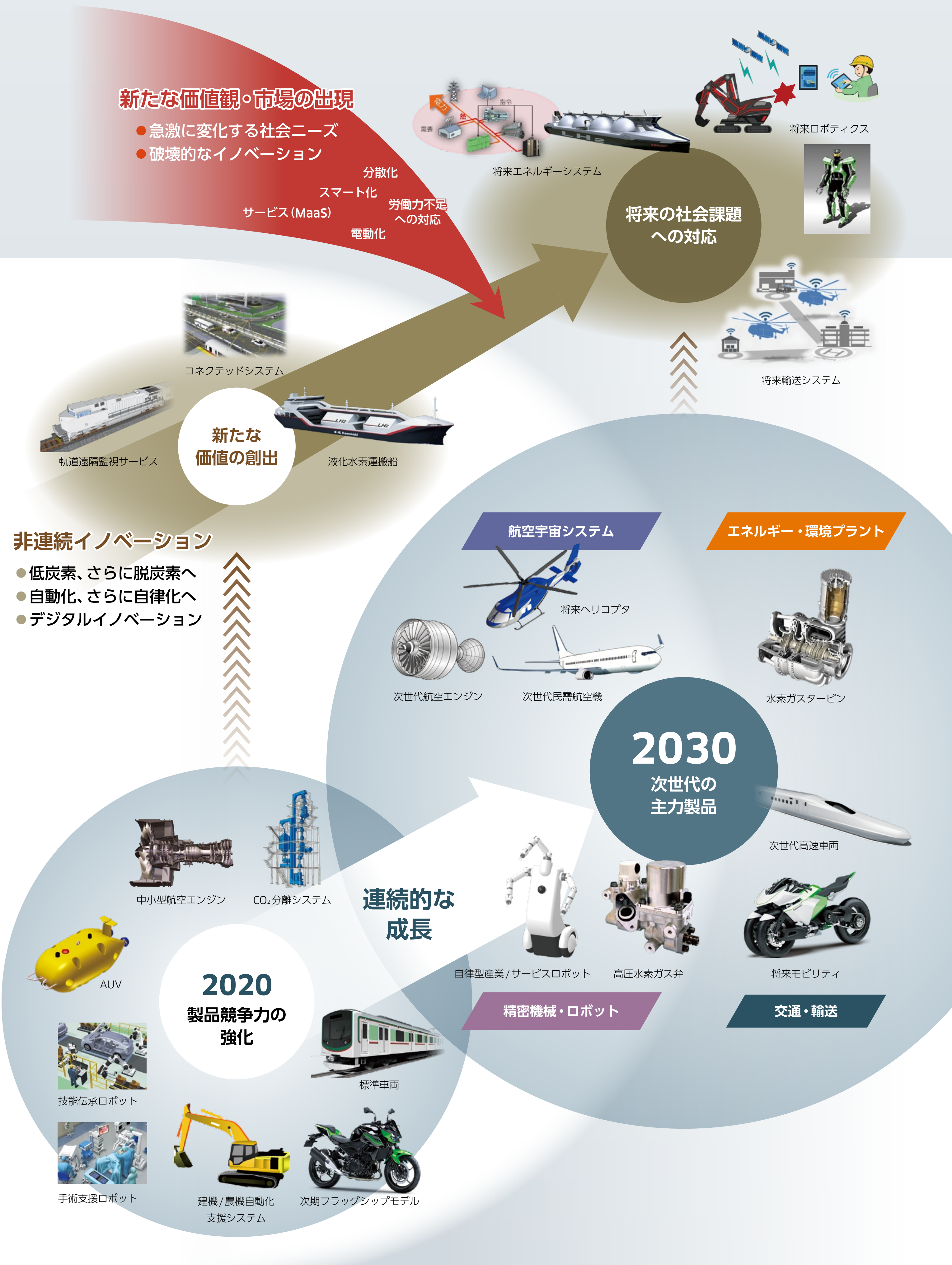
技術革新による価値創造 ～川崎重工グループの120年と未来～

創業者である川崎正蔵は、「そのわざを通じて国家社会に奉仕する」との理念をもって、1878年に造船所を開設し、1896年には株式会社川崎造船所を設立しました。今日、川崎重工は、数々の「日本初」を世の中に送り出してきた120年にわたる革新的な技術を基盤にして、社会課題の解決と企業価値の向上を目指し、新製品・新事業の開発に取り組んでいます。

新製品・新事業の開発に際しては、グループ内の技術を結集するとともに「技術のシナジー」の活用を追求していきます。また、従来技術を一層強化するとともに、急激な世の中の動きに対応する新たな価値につながる技術開発を、社外の技術も戦略的かつ効果的に活用しながら加速していきます。(注)技術開発についてはP.22をご覧ください。